



### 島地勝彦のスペシャル人生相談

週刊プレイボーイを100万部売り上げた伝説的な編集長で、現在はエッセイスト&バーマンの島地勝彦氏が本音で語る『スペシャル人生相談』。豊富な人生経験と独自の人生哲学であなたのお悩みに回答する——。

### まさにバーカウンターは人生の勉強机である

告白します。わたしは好んでいまの会社に入って8年が経ちました。いままで順風満帆のサラリーマン人生でしたが、昨年10月に異動してきた新しい部長と相性が悪いのか、なにかとソリが合わず、上手く仕事が回らなくなり、悩んでいます。最近「転職」という字が頭の中をよぎります。どうしたらいいでしょうか。シマジ先生、お知恵をお貸ください。(30歳、男性、会社員)

——以前にも同じような悩みを取り上げたような気がします。この悩みはサラリーマン人生で起こりうる大切なことですから、シマジさんのお知恵をお借りしましょうか

シマジ いま転職は珍しいことではありませんが、昭和時代は一考を要する大事なことでした。そういう悩みを持ったサラリーマンがよくサロン・ド・シマジのバーにいらして、バーマンのわたしに小さな声で悩みを告白します。そのときわたしは「いつも人生は『短気は損気』と言われてるように、冷静になって考え直すことが重要だと思います」と論じます。まだ伊勢丹のバーに立っていた頃、同じような悩みを告白して来られたまだ40歳後半のお客さまがいました。そのとき

わたしは、毎晩寝る前に声を出して3回気を入れて「〇〇部長は異動になった」と過去形で唱えてから眠りに就いてみてください。と言うと「どうしてですか」とそのお客さまはわたしに訊いてきました。「それは簡単な理由です。〇〇部長はあなたより遙かに年長者のはずです。だからあなたの願いがかなえられ、3、4年で居なくなることだってあるはずですよ」

——なるほど、あり得る話ですね  
シマジ 気に入って念ずればの話ですがね。

——そのお客さまは現実どうなさったのですか  
シマジ 実はそのお客さまが久しぶりに来店して「シマジマスター、あのときはお世話になりました。お陰さまで会社を辞めなくて良かったです。相性の悪かった〇〇部長は3年ちょっとで異動になり、昨日わたしが晴れて部長になりました」「お目出度う御座います！ おいくつになられたのですか」「ちょうど1週間後、50歳になります」「ではお祝いにわたしの一番大好きなグレンファークラス28年をご馳走致しましょう」グレンファークラス28年を水と1対1にしてシェーカーに入れて、松本チーフバーマンが気持ちを込めて振りまきました。「うーん、これは美味しい！ もう一杯自力で飲みたいですね。自分自身を祝う一杯として大事に味わいます。ところで一杯お幾らですか」「1杯1万5000円です」「……」

——なかなか臨場感のある面白いお話ですね  
シマジ それから数日後、同じ大学の先輩と後輩がやって来て、後輩が部長とソリが合わず転職の悩みを先輩に相談していたところで、サロン・ド・シマジのバーのマスターにこの難問を相談してみよう、と来店した。先輩が後輩の悩みを要約

して話してくれたのが、今回の相談者と同じ悩みだった。まずわたしが先輩と後輩と、スパイシー・ハイボールで乾杯した。いままで「スランジー」「スランジバー」と言って乾杯をしていたが、昨年4月7日の創業5周年記念日から、わたしが「メメント・モリ！」お客さまは「カルペ・ディエム！」に変えたのです。これは2000年前から今日までヨーロッパの修道院で、先輩の神父と後輩の神父が廊下ですれ違うとき、必ず年上の神父が「メメント・モリ！」と言い、後輩の神父が「カルペ・ディエム！」と答えることになっているんです。

——どういう意味ですか  
シマジ 「メメント・モリ」は「いずれ死ぬことを忘れなさんな」というラテン語で、「カルペ・ディエム」は「今日という日を一生懸命生きます」という意味です。その夜から悩める後輩は過去形で眠る前に「〇〇部長は異動になった」と念を込めて言っているに違いない。

——「メメント・モリ」も「カルペ・ディエム」もなかなか味のある荘厳なラテン語ですね  
シマジ でもお客さまたちはなかなか覚えられないらしく、いまでもカンニングペーパーをカウンターの上に置いてあります。そしてお客さまがわたしたちに奢ってくれるときは、お客さまが「メメント・モリ」と言い、わたしたちが「カルペ・ディエム」と応答します。

——あっ、思い出しました。シマジさんの一番新しい著書『人生は冥土までの暇つぶし』の最後のページに書いてありましたね  
シマジ いまわたしも言おうとしていたところでした。

——でもシマジさん、どうしてこんな魔術みたいなことを閃いたのですか  
シマジ 実はこのことはわたしではなく、今東光大僧正からの直伝です。一番効き目があるのは、その氣にくわない上司の背中に向けて呟くと効果大だと言っていましたね。

——シマジさん自身も気に入らない上司がこの方法で異動になった経験があるのですか

シマジ 人生で一度だけありました。その部長は2年足らずで別の部署に異動になりました。それから気持ちよく仕事ができ、まさに破竹の勢いで出世街道を轟進して行きました。馬鹿馬鹿しく思わず、気に入って眠る前に念じることですよ。

### シマジさんへの質問大募集！！

『スペシャル人生相談』で仕事や恋愛、人生など島地さんに答えてほしい相談を、メールでお寄せください。専用アドレス=salondeshimaji47@gmail.com ※匿名で構いませんが、なるべく年齢・性別・業種を明記してください。また、質問が多数の場合は、編集部で選抜して回答させていただきますので、ご了承ください。

島地勝彦氏  
エッセイスト  
『週刊プレイボーイ』(集英社)の元編集長として100万部雑誌に育て上げた。2008年11月集英社インターナショナル社長を退き、現在はエッセイスト&オーナーバーマン。『人生は冥土までの暇つぶし』(発行：日刊現代、発売：講談社)が絶賛発売中。東京・西麻布でオーセンティックバー「Salon de Shimaji (サロン・ド・シマジ)」のオーナーバーマンとしてお酒を振る舞い、本のソムリエとして読書案内も手がける。



島地勝彦氏  
著書『人生は冥土までの暇つぶし』

「Authentic Bar Salon de Shimaji」  
住所：東京都港区西麻布4-2-5 Art SiloビルB1F  
電話：03-6427-1477  
メールアドレス：bar.salon.de.shimaji@gmail.com  
営業時間：平日18時～24時

土曜14時～17時(カフェタイム)  
18時～24時(BARタイム)  
日曜12時～17時(カフェタイム)  
18時～22時(BARタイム)

(土日の営業時間が変更になりました。カフェタイムに島地氏は不在です)

定休日：月曜、祝日(祝日が金・土・日曜日の場合、日・月曜日の2連休)

オンラインショップ：<https://shimaji.base.shop>